

学位被授与者氏名	宮島 優奈 (みやじま ゆうな)
論文題目	A 団地における独居・夫婦のみ高齢者世帯に対する戸別訪問活動の事例分析から見る活動を継続させるために必要な参加促進要因
論文審査結果の要旨	<p>本論文は、宮島優奈氏が大学在学中からの約 5 年間に渡る戸別訪問活動への参加経験から研究テーマを考え、参与観察と質的データに基づいて分析を行った研究である。高齢化団地における研究についてはある程度の先行研究はあるが、約 100 年前にケースワークの母と言われたメアリー・リッチモンドが示した友愛訪問活動をモデルとしたこのような戸別訪問活動に関連した研究の蓄積は乏しい。そのような困難が伴う中で、戸別訪問活動を続けることはどうすればできるのかを問うた本研究テーマに取り組み続けたことは、その研究フィールドである当該団地との関わりの長さや深さからも十分に評価に値すると考えられる。</p> <p>しかし一方で、本研究論文のような研究テーマでは先行研究が乏しいとは言え、テーマを練り上げるために必要な先行研究レビューが不十分であること、参加促進要因は何であったのかという結論の導き方において参与観察者としての経験主義的な考察の展開が見られるなど、研究上の未熟さが見られた。</p> <p>上記のような未熟な点は見られるものの、地域共生社会の実現を目指すという今日的な地域福祉の課題から考えても、本研究論文は十分に社会的価値のある内容であったと評価することができると考えられる。</p> <p>2020 年 2 月 19 日に、北九州市立大学北方キャンパス 4 号館 4-101 教室において、審査委員全員の出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士（人間関係学）として十分な内容であると判定した。</p>